

井の頭恩賜公園花便り



ひやくさいくん



フクジュソウ(福寿草)キンポウゲ科

江戸時代から“春を告げてくれる花”として“福告ぐ草”(フクツグソウ)、また“新春を祝う”として“元旦草”とも呼ばれます。旧正月(1月21日～2月20日頃)に“難を転じて福となす”という意味で南天と一緒に飾る風習がありました。



花は一定の温度で開花し下がると閉じます。花弁は黄色で光沢があり、光をよく反射します。花が開くとパラボラアンテナのような形になって光を中心に集め、中の温度を上げ、花粉や種子を作り昆虫を呼び寄せます。また、太陽の動きを追うように花の向きを変えて咲きます。